

日本物理学会 男女共同参画委員会  
第75期(2019年4月1日～2020年3月31日)活動報告書

第75期男女共同参画推進委員会委員長 野中千穂

日本物理学会男女共同参画推進委員会（以下、「本委員会」）の第74期の活動は以下の通りであった。

## I. 構成員と会議

### 1. 構成員（全15名）

委員長	野中千穂（名古屋大学）	
副委員長	遠山貴巳（東京理科大学）	
委員	市川温子（京都大学）	糸井充穂（日本大学）
	門信一郎（京都大学）	佐野幸恵（筑波大学）
	曹基哲（お茶の水女子大学）	中本有紀（大阪大学）
	野尻美保子（KEK）	比連崎悟（奈良女子大学）
	福島孝治（東京大学）	藤井保彦（東京大学名誉教授）
	藤原正澄（大阪市立大学）	細越裕子（大阪府立大学）
	山本文子（芝浦工業大学）	

### 2. 会議

- ・次のとおり全3回を日本物理学会会議室で開催した。  
(2019年) 第1回 5月27日 臨時 6月17日 第2回 9月16日  
(2020年) 第3回 3月3日（コロナウィルスの影響のため中止とした）

## II. 活動方針

日本物理学会では、物理の教育・研究・応用においても男女が互いにその人権を尊重し、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができるように、2002年7月、本会に男女共同参画推進委員会を設立しました。1999年の男女共同参画社会基本法制定からすでに20年を経過していますが、科学における女性の参加、その中でも物理学における女性の参加は極めて低い状態にあります。本委員会は学会内の活動に加え、女子中高生・大学生に向けたアウトリーチ活動への協力、男女共同参画学協会連絡会を通じた政府・社会への働きかけ、男女共同参画をテーマとした国際会議に出席するなど国内外で活動を行っています。

## III. 主な検討・活動内容

1. 第75回年次大会において開催予定の男女共同参画推進ランチョンミーティングは年次大会の中止に伴い、中止することとなった。
2. 女子中高生夏の学校2019  
夏学14年間のあゆみの冊子版が完成したことを日本物理学会と男女共同参画学協会連絡会のHPやメーリングリストでお知らせをした。今後は、NWECの場所を借りるこ

とはできるが、女子中高生理工系キャリアパスプロジェクトが運営主体で活動をする事となる。

### 3. 関西科学塾

2019年度は5回のプログラムに沿って実施された。

日程 A (7月21日) 大阪市立大学

C (10月27日) 大阪府立大学

D (11月10日) 大阪大学、京都大学

E (12月22日) 中西金属工業(株)見学会

F (3月20-21日) 大阪市立大学

### 4. 学協会連絡会関係

- ・幹事学会として運営委員会を3回開催をした。

第1回：2019年12月10日(月) 15:00-17:00 東大駒場 数理科学研究科棟

第2回：2020年3月27日(水) 15:00-17:00 東大駒場 数理科学研究科棟

第3回：2020年8月30日(金) 15:00-17:00 東大駒場 18号館ホール

- ・男女共同参画学協会連絡会第17回シンポジウム(2019年10月12日(土)於 お茶の水女子大学)は開催に向けて準備を進めていたが、大型台風の接近に伴い、参加者の安全を考慮して中止と決定した。シンポジウム発表のポスターについては、男女共同参画学協会連絡HPにアップをした。
- ・2019年学協会連絡会女性比率調査が報告された。
- ・科学技術分野における男女共同参画の推進に向けての要望書が報告された。

### 5. APCC2019 (14TH Asia-Pacific Physics Conference)

日時：2019年11月18日(月)～2019年11月22日(金)

場所：マレーシア (ボルネオ島クチン)

出張者：野中委員長

目的：2019年11月17日(日)～2019年11月22日(金)にマレーシア (ボルネオ島クチン) で開催される APCC2019(14TH Asia-Pacific Physics Conference)のセッションおよびブレックファーストミーティングに出席し、ポスター発表、口頭発表、意見交換などを行うことにより国際交流を図った。

### 6. 2020IUPAP(7th IUPAP International Conference on Women in Physics)

(開催地：メルボルン)は、コロナウィルスの影響で2021年7月に延期となった。

### 7. 日本物理学会と応用物理学会における男女共同参画関連国際活動連絡会

特に活動は無かった。

以上